

令和4年6月1日 佐藤

～ 有事の際に、自分はどう行動すべきか、いま考えてみませんか ～

「墨田区水害ハザードマップ」を改定、 6月4日より順次、区内全戸配付を行います！

区では、洪水、高潮、雨水出水の情報をまとめた「墨田区水害ハザードマップ」を令和4年3月に改定し、6月4日（土）から区内全戸への配付を開始する。同月末日までに完了する予定。

「墨田区水害ハザードマップ」は、荒川が氾濫した場合と局所的集中豪雨による内水（雨水出水）が発生した場合の区内地域への影響や、避難に関する情報などをまとめたもので、区内すべての世帯に配付する。同ハザードマップは、平成30年度作成以後に更新された内容を反映し、掲載する情報量の多さを考慮し、地図（A1判 両面カラー）と冊子（A4判 両面カラー）とした。

前回作成時からの主な変更点としては、高潮の浸水深、浸水継続時間の地図の追加、内水（雨水出水）の地図データの更新、避難の基本方針を追加、WEB版ハザードマップの新設、書き込みができる「マイ・タイムライン」ページの追加など。さらに今回の改定では、冊子全体の内容を段階ごとに区別することで、理解しやすくしている。

また、これまでと同様、水防法の規定により定められた想定最大降雨量（荒川流域の72時間総雨量632mm）に伴う洪水により、荒川が氾濫した際の浸水深や浸水継続時間の想定も掲載しており、東京スカイツリー®以北の地区では、浸水の継続時間が2週間を超える地域が多く存在していることが確認できる。また、荒川氾濫時に区立小・中学校等の何階部分まで浸水するかも知ることができる。

完成したハザードマップを見た立花南町会の多田井利房さんは「内容がとてもわかりやすく作られており、とても良い。冊子の中のマイ・タイムラインのページは、いざという時の備えとして、自分や家族の動きを可視化できるからぜひ役立てたい。」と話した。

作成に携わった防災課の職員は「荒川が氾濫した場合、区内のほぼ全域が浸水してしまう。気象や避難に関する情報をしっかり確認して、どう行動するかを日頃から皆さんそれぞれに考えてほしい。」と話す。

同ハザードマップは、日本語版と外国語版（英語・中国語・韓国語）があり、区公式ウェブサイトからダウンロードすることもできる。なお、日本語版は、区防災課及び区内各出張所でも配布する。さらに、区公式YouTubeチャンネルでは、同ハザードマップに関する啓発動画も公開している。

今回改定された「墨田区水害ハザードマップ」表紙



「墨田区水害ハザードマップ」を見る立花南町会の多田井さん



《「墨田区水害ハザードマップ」概要》

【発行部数】日本語版 20万部

外国語版はウェブダウンロードのみ

【ウェブ公開】https://www.city.sumida.lg.jp/anzen_anshin/bousai/suigai/suigai.html

啓発動画も上記URLから視聴可能

【仕様】冊子：A4判・両面4色カラー・36ページ

地図：A1判・両面4色カラー

【配布場所】墨田区役所本庁舎5階防災課および区内各出張所

《問合せ》墨田区危機管理担当防災課 03-5608-6206

問合せは午後5時までをお願いいたします。

広報広聴担当 03-5608-6220